

令和5年度上大久保中学校だより

# 上中だより

## 3学期特別号

令和7年3月26日(水)発行

## 学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 Tel.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

## 「青春を謳歌し、考え、行動する人に!!」

校長 <sup>たかく</sup> 高久 <sup>まさゆき</sup> 正行

本日、修了式を迎えました。本年度も全ての教育活動をつつがなく終了することができました。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対し、多大なるご支援とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。振り返ると、猛暑続きの長い夏であった印象がとて強いのですが、生徒たちは、勉強や運動、学校行事、委員会活動や部活動に熱心に取り組み、とても活気のある一年を過ごしてくれたと思っています。ぜひ、各ご家庭でも、この一年のお子様の歩みについて話題にしていれば幸いです。来年度も引き続き、生徒があらゆる場面で生き生きと、意欲的かつ積極的に活躍できる学校を目指し、教職員一同取り組んでまいります。

さて、3月14日(金)に、第45回卒業証書授与式を行いました。当日は、天候にも恵まれ、春を感じさせるような暖かい陽気の日となりました。卒業生や在校生の式に臨む姿勢や式歌・校歌を歌う様子は大変立派で、特に、卒業生一人ひとりの呼名に対する返事、全校生徒による「旅立ちの日に」と卒業生による「終わらない旅へ」の式歌はとて感動的でした。ご来賓並びに地域の皆様からは、「とても素敵な式でした。」と、多くのお褒めのことばをいただきました。

以下に、式辞の中で述べた、卒業生への「はなむけのことば」の一部を抜粋して紹介します。

一つ目は「青春」という言葉です。辞書で調べると、「夢や希望に満ち活力のみながる若い時代を、人生の春にたとえたもの」との説明がありました。一方で、アメリカの詩人、サミュエル・ウルマンは「青春」について別の視点に立った詩を書いています。この詩に深く感銘を受けた「松下 幸之助」は、サミュエル・ウルマンの「青春」という詩にヒントを得て、70歳の時に次のような言葉をつくり座右の銘としました。それは、「青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ、勇氣にみちて日に新たな活動を続けるかぎり、青春は永遠にその人のものである」というものです。常に前へ進む気力さえ失わなければ、若さはいつも向こうからついてくるというのが、松下の信念であったそうです。



二つ目は、「考え、行動する」ということです。世界は今、環境問題や国際情勢など、地球規模の様々な課題に直面しており、SDGsに則した持続可能な社会の構築が求められ、日本でも少子高齢化、経済問題や自然災害などの問題を抱え、先行き不透明な時代でもあると言われています。そのような中、私たち一人ひとりが答えのない問いにどう立ち向かうかが問われています。そこで求められるのが、「自分の頭で考えて主体的に目標を設定し責任ある行動が取れる力、いわゆる『エージェンシー』』という力です。この上中での経験を基に、今後も様々なことに挑戦しながら、「考え、行動する人」を目指してください。その際、いろいろな考えをもつ人がいること、いろいろな背景をもつ人がいること、つまり多様性も大切にしてください。常に相手を尊重し、感謝する気持ちはこれからの社会で活躍するうえで必要な資質だと思っています。

この「はなむけのことば」は、4月からそれぞれが選択した新しい環境での生活をスタートさせる卒業生はもちろんのこと、在校生にもぜひ考えてほしいものとして話させていただきました。

また、先日の保護者会にはご多用の中、多くの保護者の皆さまにご参加いただきまして、誠にありがとうございました。その中で、来年度(令和7年度)の年間行事計画について、年間の授業日数が202日(令和6年度205日)になることと、年間行事の実施日の変更の説明をさせていただきました。

主な年間行事の変更としては、以下のようになります。詳細は、保護者会資料でもご確認ください。

5月 8日(木) 課題テスト(1学期中間テストにかわるもの)

6月13日(金) 体育祭<予備日:6月16日(月)>

6月30日(月)~7月4日(金) 全校三者面談(教室棟東側1~5階トイレの全面改修のため)

10月24日(金) 合唱コンクール

令和7年度も生徒一人ひとりの活躍を期待するとともに、保護者の皆さまには、今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。1年間本当にありがとうございました。